

テレビドラマ「逃げ恥」が社会に与えた影響

宮崎 慧優 (兵庫県立北摂三田高等学校)

〈研究動機〉

普段からドラマを見るのが好きだったことから、“テレビドラマ”が社会に与えた影響について気になった。その中でも「逃げるは恥だが役に立つ」は、私が好きな作品の1つで、この作品が社会に影響を与えたことを知り、テレビドラマ「逃げ恥」が社会に与えた影響というテーマで研究を進めようと思った。

〈現状とリサーチクエスチョン〉

2016年にTBS系列で放送された「逃げるは恥だが役に立つ」の放送で、「愛の搾取」という「森山みくり」(新垣結衣)のセリフを感慨深く受け取った視聴者の声が見受けられた。

～リサーチクエスチョン～

対等な夫婦関係を作るためには家事が無償であるのは正しいのか？

〈方法〉

生徒120名、保護者80名にアンケートの実施

インタビュー

〈予想と展望〉

- ・日本では、諸外国に比べて女性の家事負担割合が高い
- ・共働き夫婦の家事分担を成功させるためには、会話とコミュニケーションが重要
- ・家事の価値を金銭化することで、「家事=仕事」としての理解が得られる。ただし、金銭価値だけで家事分担を考慮するのではなく、夫婦が互いに感謝しながら協力し合うことが大切
- ・女性の本音は「夫には自主性を持って家事をしてほしい」
- ・家事をしてほしいタイミングは、病気や出産後、子どもに時間が取られるとき
- ・家事を分担するためには「簡単に家事ができるように準備」することが大切

『逃げ恥』が現代社会に提示した幸せな夫婦像とは、互いの信頼関係と愛情をもとに、共に有償・無償労働をバランスよく担う“ワークライフハーモニー”というライフスタイルを求め続けるカップルのことではないだろうか。

アンケートの調査結果などをもとにリサーチクエスチョンの答えを探していきたい。